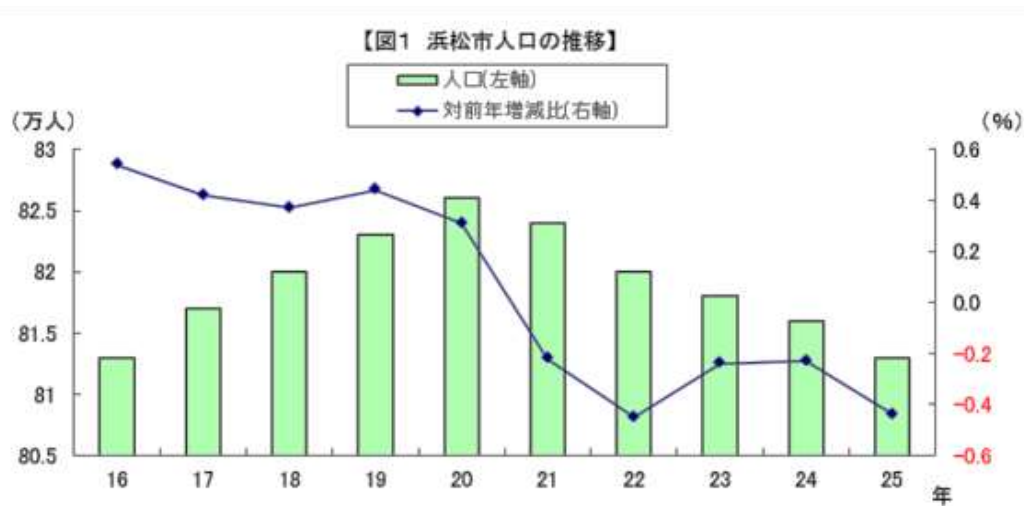


## 1 概要

平成25年10月1日現在の住民基本台帳に基づく浜松市の総人口は812,888人で、前年に比べ3,602人(0.44%)減少している。世帯数は321,882世帯で、1,711世帯(0.53%)増加している。

性別で見ると、男性が404,343人(構成比49.7%)で、前年に比べ1,825人(0.45%)減少している。女性は408,545人(同50.3%)で、前年に比べ1,777人(0.43%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.0で、平成24年の99.0と比べ変動はない。

1世帯あたりの平均人員は2.53人で、前年に比べ、0.02人減少している。



注)平成16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	総人口			日本		
	総数	前年比%	世帯数	総数	前年比%	世帯数
平成16	813,202	0.54	296,758	784,852	0.25	296,758
17	816,658	0.42	301,643	786,300	0.18	301,643
18	819,699	0.37	306,014	788,102	0.23	306,014
19	823,272	0.44	313,150	790,292	0.28	313,150
20	825,810	0.31	316,716	792,191	0.24	316,716
21	824,023	△0.22	318,158	793,505	0.17	318,158
22	820,317	△0.45	317,669	792,788	△0.09	317,669
23	818,375	△0.24	318,213	792,691	△0.01	318,213
24	816,490	△0.23	320,171	792,334	△0.05	320,171
25	812,888	△0.44	321,882	791,400	△0.12	321,882

注1)平成16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

注2)平成23年以前は、日本人住民は住民登録数、外国人住民は外国人登録数を集計。

表2 浜松市人口・世帯数等

	平成24年10月1日						総数	前年比%
	総数	男	女	性比	世帯数	1世帯あたり平均人員		
総人口	816,490	406,168	410,322	99.0	320,171	2.55	812,888	△0.44
日本人住民	792,334	394,282	398,052	99.1	309,078	2.56	791,400	△0.12
外国人住民	24,156	11,886	12,270	96.9	11,093	2.18	21,488	△11.04

## 2 日本人住民数と外国人住民数

平成25年10月1日現在の日本人住民数は791,400人で、前年に比べ934人(0.12%)減少している。世帯数は312,365世帯で、3,287世帯(1.06%)増加している。

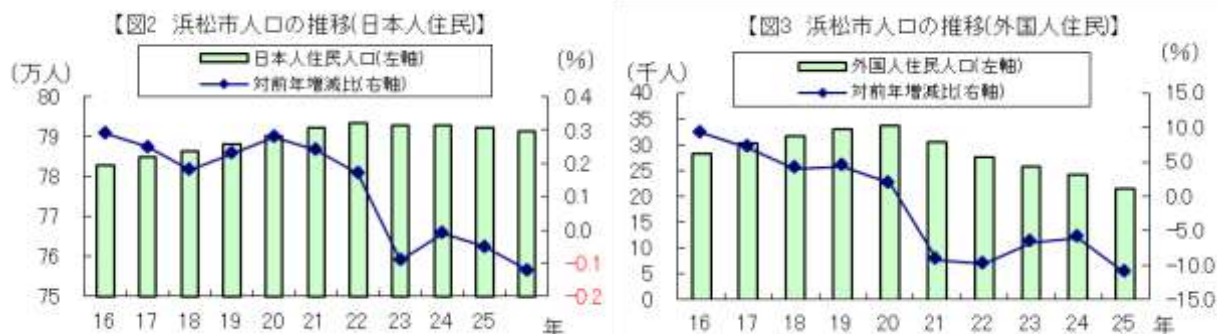
性別で見ると、男性が393,864人(構成比49.8%)で、前年に比べ418人(0.11%)減少している。女性は397,536人(同50.2%)で、前年に比べ516人(0.13%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.1で、平成24年の99.1と比べ変動はない。

1世帯あたりの平均人員は2.53人で、前年に比べ0.03人減少している。

平成25年10月1日現在の外国人住民数は21,488人で、前年に比べ2,668人(11.04%)減少している。世帯数も9,517世帯で、前年に比べ1,576世帯(14.21%)減少している。

性別で見ると、男性が10,479人(構成比48.8%)で、前年に比べ1,407人(11.84%)減少、女性は11,009人(同51.2%)で、前年に比べ1,261人(10.28%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は95.2で、平成24年の96.9に比べ減少している。

1世帯あたりの平均人員は2.26人で、前年に比べ0.08人増加している。



注)平成16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

人 住 民			外 国 人 住 民				
男	女	世帯数	総数	前年比%	男	女	世帯数
389,539	395,313	281,631	28,350	9.19	14,322	14,028	15,127
390,440	395,860	285,724	30,358	7.08	15,625	14,733	15,919
391,665	396,437	290,052	31,597	4.08	16,707	14,890	15,962
393,023	397,269	293,790	32,980	4.38	17,355	15,625	19,360
394,277	397,914	297,481	33,619	1.94	17,545	16,074	19,235
394,974	398,531	300,543	30,518	△ 9.22	15,670	14,848	17,615
394,755	398,033	302,750	27,529	△ 9.79	13,857	13,672	14,919
394,635	398,056	305,874	25,684	△ 6.70	12,725	12,959	12,339
394,282	398,052	309,078	24,156	△ 5.95	11,886	12,270	11,093
393,864	397,536	312,365	21,488	△ 11.04	10,479	11,009	9,517

平成25年10月1日									
男	前年比%	女	前年比%	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり平均人員	面積km <sup>2</sup>	人口密度
404,343	△ 0.45	408,545	△ 0.43	99.0	321,882	0.53	2.53	1,558.04	522
393,864	△ 0.11	397,536	△ 0.13	99.1	312,365	1.06	2.53	-	-
10,479	△ 11.84	11,009	△ 10.28	95.2	9,517	△ 14.21	2.26	-	-



#### 4 年齢別人口

年齢別に人口をみると、実数では老年人口(65歳以上)が増加し、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15歳～64歳)が減少している。構成比では、年少人口が13.9%で前年比0.1%減、生産年齢人口が62.1%で前年比0.9%減少しているのに対し、老年人口は24.0%で前年比1.0%増加している。

行政区別にみると、年少人口の占める割合が最も高いのは浜北区(15.4%)で、最も低いのは天竜区(8.2%)である。

生産年齢人口の占める割合が最も高いのは中区(63.8%)で、最も低いのは、年少人口と同様天竜区(53.3%)である。

表4 年齢3区分別人口

	平成24年	平成25年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口(15歳未満)	114,026	<b>112,725</b>	31,484	19,306	17,133	14,642	12,743	14,712	2,705
構成比(%)	14.0	<b>13.9</b>	13.1	14.9	15.0	14.0	13.4	15.4	8.2
生産年齢人口(15歳～64歳)	514,218	<b>504,745</b>	153,755	80,949	70,375	64,776	58,376	58,922	17,592
構成比(%)	63.0	<b>62.1</b>	63.8	62.5	61.5	62.1	61.4	61.5	53.3
老年人口(65歳以上)	188,246	<b>195,418</b>	55,730	29,182	26,970	24,816	23,894	22,123	12,703
構成比(%)	23.0	<b>24.0</b>	23.1	22.5	23.6	23.8	25.1	23.1	38.5

平成25年10月1日										
総数	前年比%	男	女	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり	人口構成比	面積km <sup>2</sup>	人口密度
							平均人員			
<b>240,969</b>	△ 0.60	119,663	121,306	98.6	106,710	0.25	2.26	29.6	44.23	5,448
<b>129,437</b>	0.05	64,833	64,604	100.4	50,878	0.95	2.54	15.9	46.29	2,796
<b>114,478</b>	△ 1.01	57,077	57,401	99.4	42,525	0.00	2.69	14.1	114.40	1,001
<b>104,234</b>	△ 1.21	52,364	51,870	101.0	41,039	△ 0.09	2.54	12.8	47.02	2,217
<b>95,013</b>	△ 0.04	46,881	48,132	97.4	34,647	1.23	2.74	11.7	295.59	321
<b>95,757</b>	1.04	47,611	48,146	98.9	33,041	2.00	2.90	11.8	66.51	1,440
<b>33,000</b>	△ 2.12	15,914	17,086	93.1	13,042	△ 0.48	2.53	4.1	944.00	35

年齢構成指数をみると、年少人口指数は前年と比べ0.1ポイント上昇の22.3、老年人口指数は同2.1ポイント上昇の38.7、従属人口指数は同2.2ポイント上昇の61.0、老年化指数は同8.3ポイント上昇の173.4である。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で100を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数(生産年齢人口に占める年少人口の割合)

$$\frac{\text{年 少 人 口}}{\text{生 産 年 齢 人 口}} \times 100$$

- 老年人口指数(生産年齢人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老 年 人 口}}{\text{生 産 年 齢 人 口}} \times 100$$

- 従属人口指数(生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和)

$$\frac{\text{年 少 人 口} + \text{老 年 人 口}}{\text{生 産 年 齢 人 口}} \times 100$$

- 老年化指数(年少人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老 年 人 口}}{\text{年 少 人 口}} \times 100$$

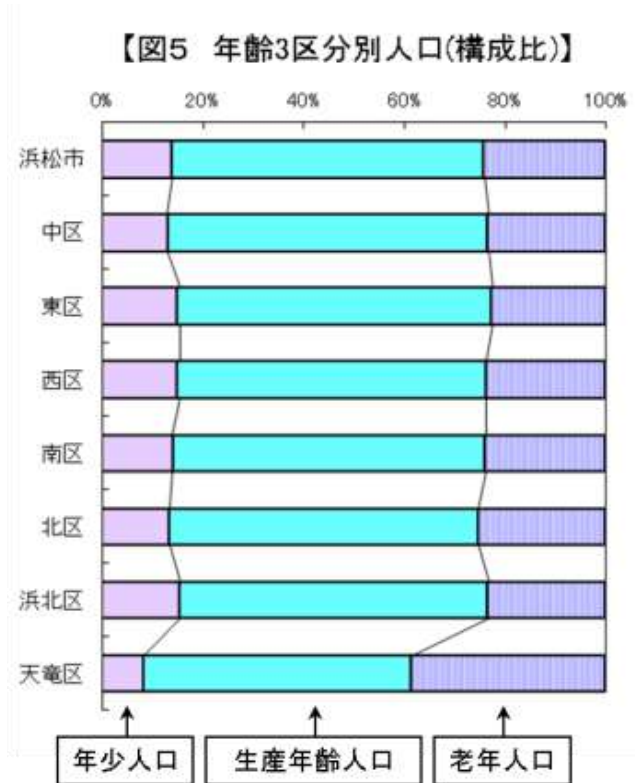


表5 年齢構成指数

	平成24年	平成25年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口指数	22.2	<b>22.3</b>	20.5	23.8	24.3	22.6	21.8	25.0	15.4
老年人口指数	36.6	<b>38.7</b>	36.2	36.0	38.3	38.3	40.9	37.5	72.2
従属人口指数	58.8	<b>61.0</b>	56.7	59.9	62.7	60.9	62.8	62.5	87.6
老年化指数	165.1	<b>173.4</b>	177.0	151.2	157.4	169.5	187.5	150.4	469.6

日本人住民の平均年齢は44.81歳で、前年の44.60歳より0.21歳上昇している。男女別にみると、男性は43.37歳(前年43.18歳)、女性は46.24歳(同46.01歳)で、ともに前年に比べ上昇している。外国人住民の平均年齢は32.87歳で、前年の32.75歳より0.12歳上昇している。男女別にみると、男性は32.15歳(前年32.29歳)で下降し、女性は33.55歳(同33.19歳)で、上昇している。

行政区別にみると、日本人住民の平均年齢は、前年と同様すべての区において上昇しており、最も上昇幅が大きかったのは天竜区の0.45歳で、最も上昇幅が小さかったのは浜北区の0.10歳であった。外国人住民の平均年齢は、前年に比べ、東区、北区、天竜区は下降、中区、西区、南区、浜北区においては上昇している。

表6 平均年齢

【日本人住民】

	平成24年			平成25年		
	男	女	合計	男	女	合計
<b>浜松市</b>	<b>43.18</b>	<b>46.01</b>	<b>44.60</b>	<b>43.37</b>	<b>46.24</b>	<b>44.81</b>
中区	43.06	46.02	44.55	43.35	46.32	44.85
東区	42.10	44.57	43.33	42.31	44.91	43.60
西区	42.28	45.18	43.73	42.70	45.60	44.15
南区	42.50	45.61	44.22	43.25	45.98	44.61
北区	43.89	46.97	45.45	44.10	47.17	45.66
浜北区	42.82	44.93	43.88	42.84	45.10	43.98
天竜区	51.45	55.57	53.43	51.85	55.78	53.88

【外国人住民】

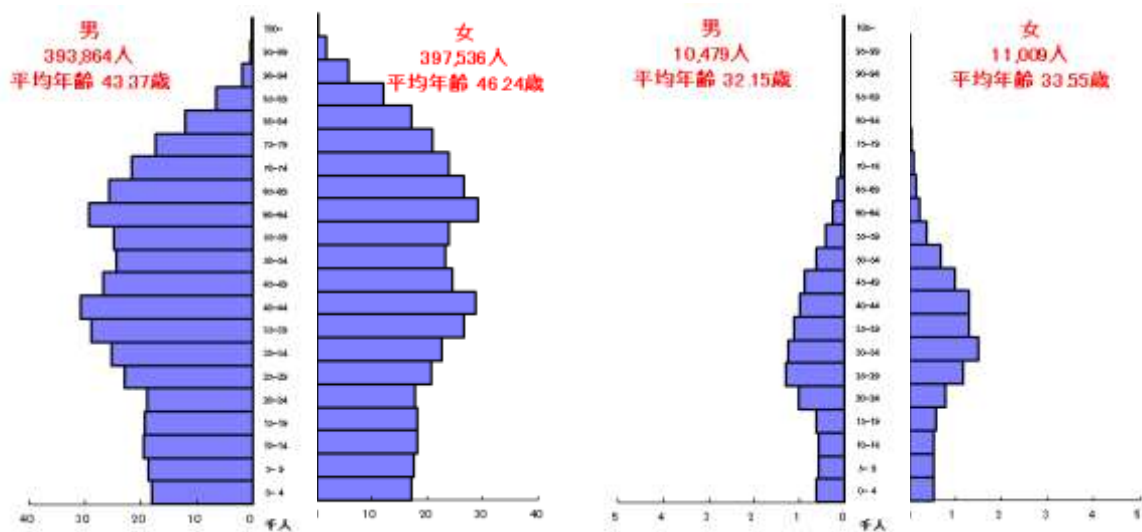
	平成24年			平成25年		
	男	女	合計	男	女	合計
<b>浜松市</b>	<b>32.29</b>	<b>33.19</b>	<b>32.75</b>	<b>32.15</b>	<b>33.55</b>	<b>32.87</b>
中区	32.62	33.59	33.12	32.61	34.06	33.36
東区	32.34	33.56	32.98	32.02	33.75	32.93
西区	30.86	32.41	31.60	30.68	32.78	31.72
南区	31.82	32.00	31.91	31.63	32.21	31.92
北区	32.82	33.27	33.06	32.48	33.55	33.04
浜北区	31.86	32.90	32.36	31.71	33.14	32.41
天竜区	38.86	38.76	38.80	38.36	38.82	38.60

人口ピラミッド(5歳階級)は、日本人住民において、60～64歳(昭和26～30年生)と、40～44歳(昭和46～50年生)の人口が多いことを表している。外国人住民は、30歳代前半の人口が最も多い。

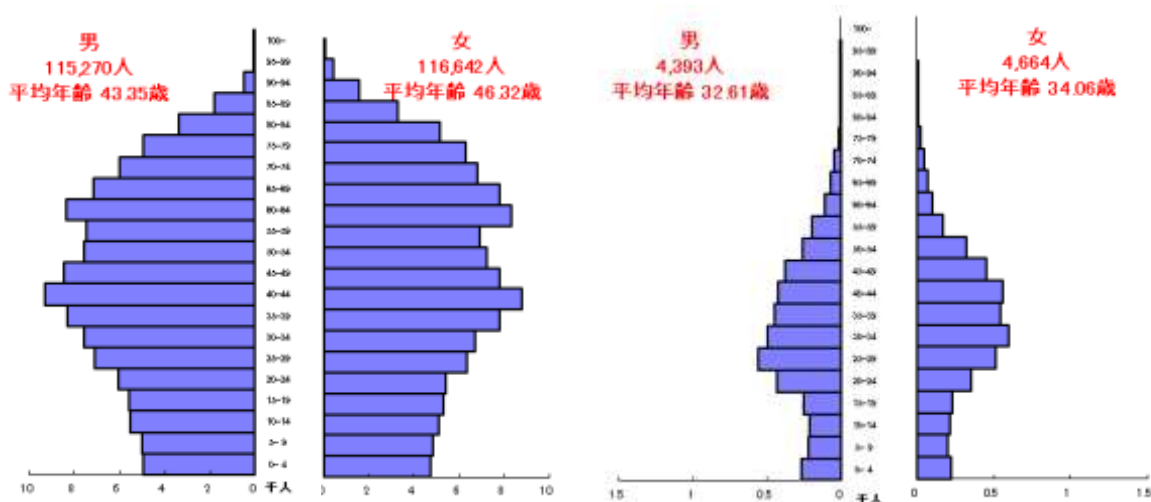
行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。北区、天竜区の日本人住民人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。

【図6 人口ピラミッド(5歳階級)】

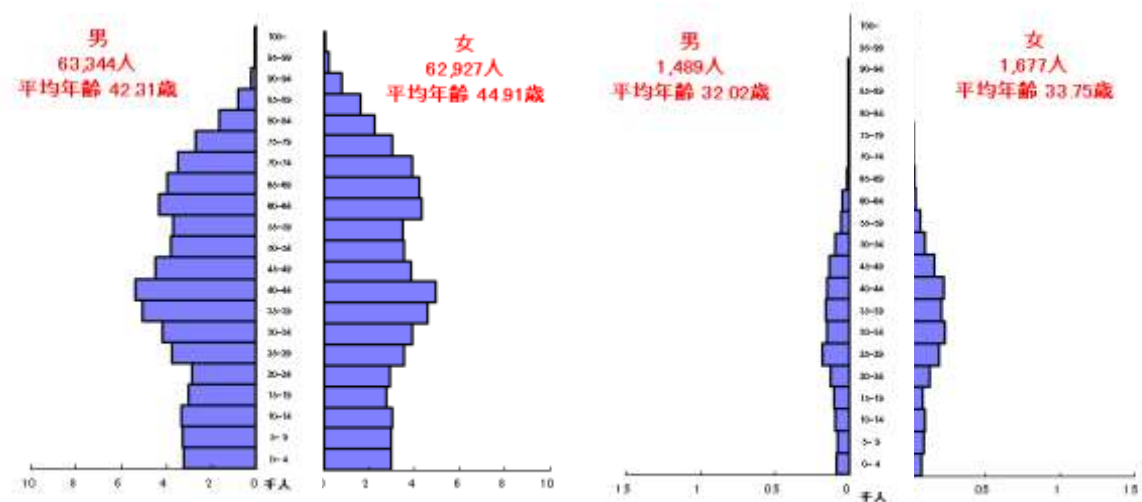
〈日本人住民〉 〈外国人住民〉  
 《 浜 松 市 》



《 中 区 》



《 東 区 》

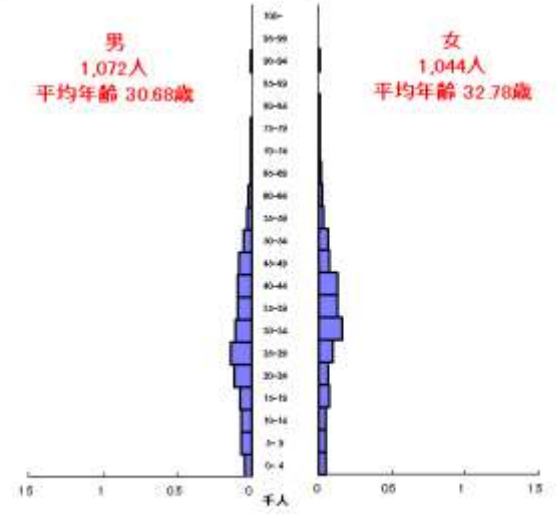
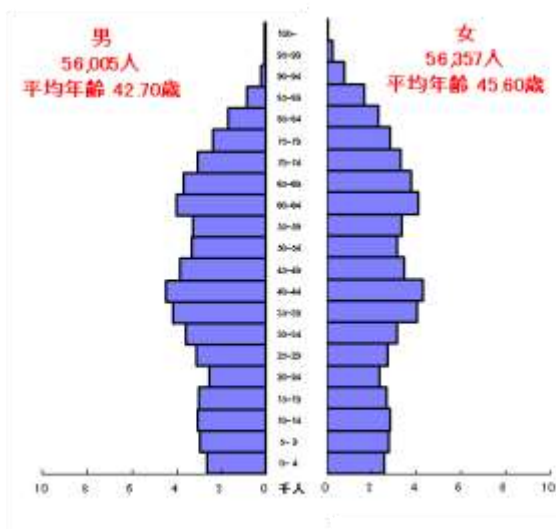




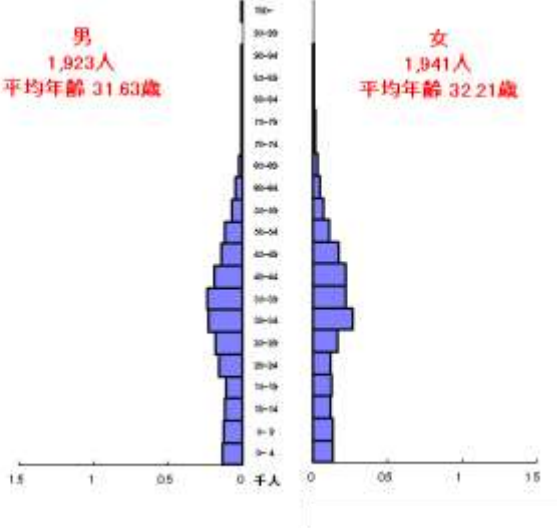
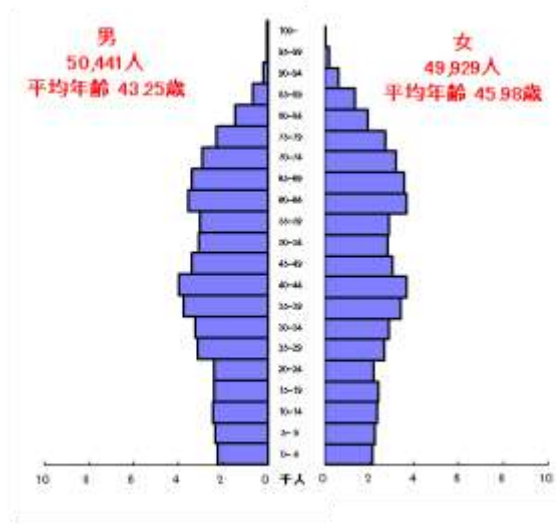
〈日本人住民〉

《 西 区 》

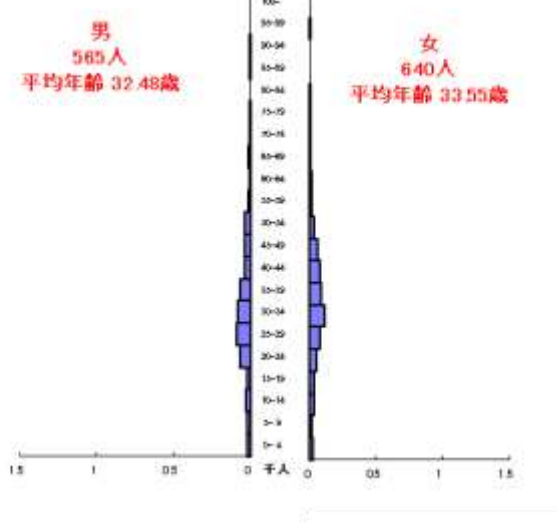
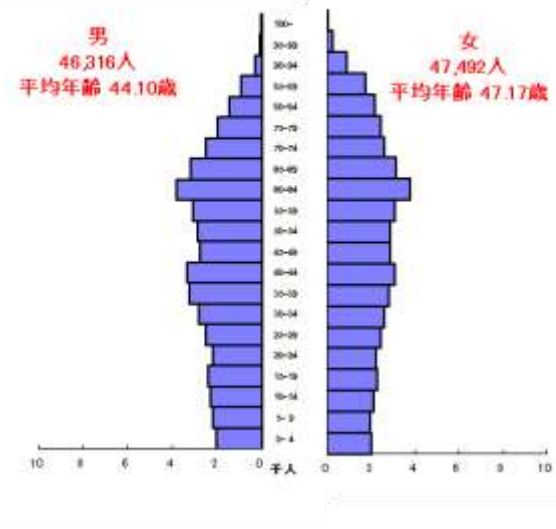
〈外国人住民〉



《 南 区 》



《 北 区 》

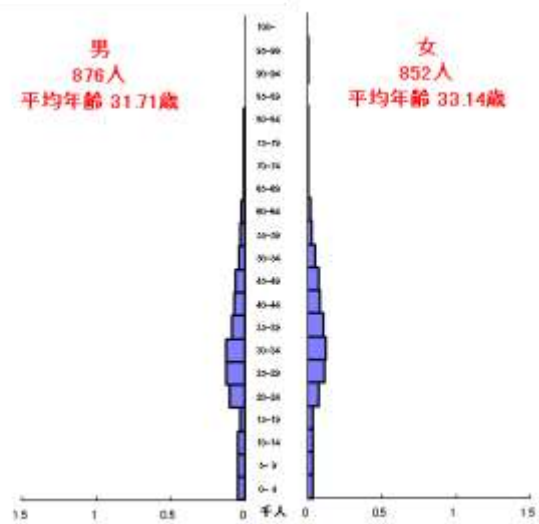
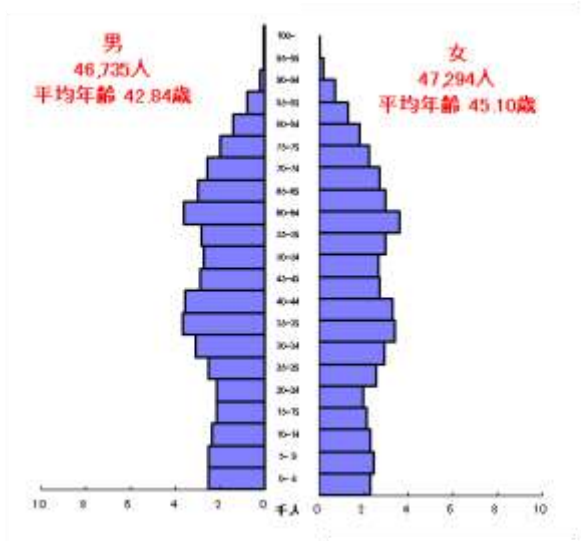




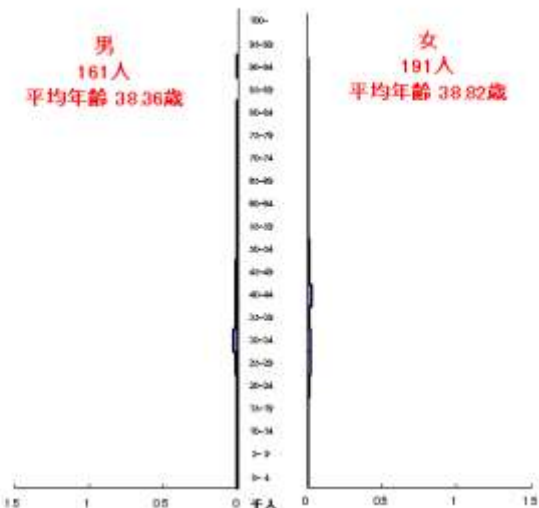
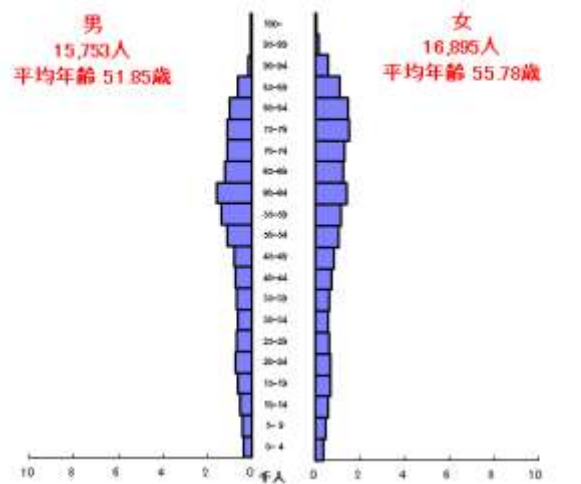
<日本人住民>

<外国人住民>

《 浜 北 区 》



《 天 竜 区 》



## 5 人口動態(平成25年1月～12月)

### (1) 自然動態

平成25年1月から12月までの自然動態をみると、出生数は7,169人、出生率(人口1,000人あたりの出生数)は8.82%(パーミル)である。これに対し、死亡数は7,565人、死亡率(人口1,000人あたりの死亡数)は9.31%で、両者の差である自然増加数は396人減、自然増加率(人口1,000人あたりの自然増加数)は0.49%減である。

前年と比較すると、出生数は211人減少、死亡数も34人減少している。自然増加数は396人減で6年連続の減少である。

行政区別にみると、出生数は中区、東区、西区の順に多く、死亡数は中区、西区、北区の順に多い。自然増加数は東区、浜北区、南区の順に多く、北区と天竜区では大きく減少している。

自然動態率をみると、出生率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。逆に、死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは東区であり、従って自然増加率も、最も高いのが東区、最も低いのが天竜区である。

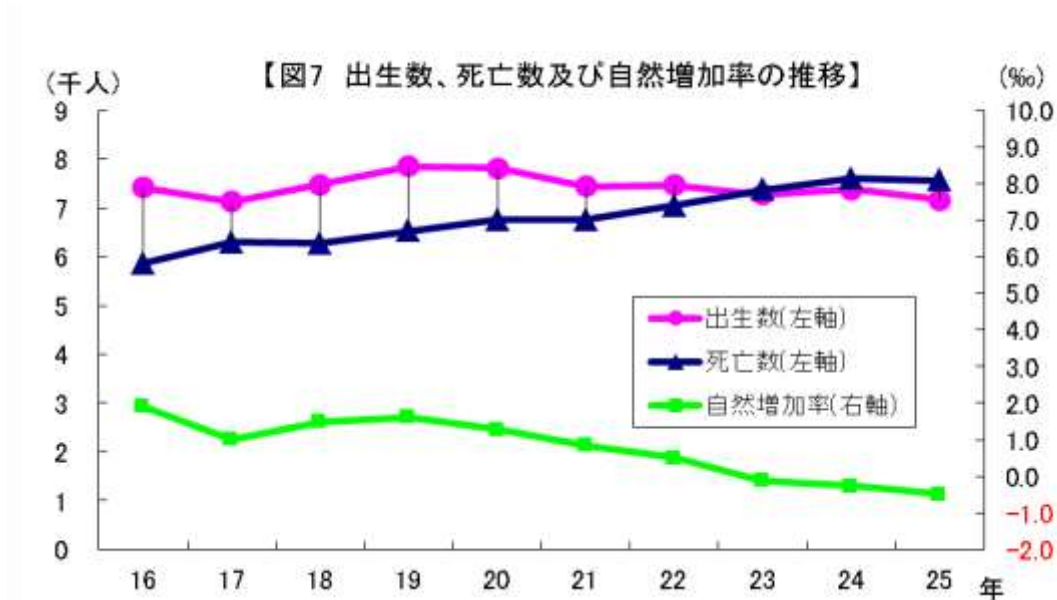


表7 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 加		
	総 数	出生率(%)	前年比(%)	総 数	死亡率(%)	前年比(%)	総 数	自然増加率(%)	前年比(%)
<b>浜松市</b>	<b>7,169</b>	<b>8.82</b>	<b>△ 2.86</b>	<b>7,565</b>	<b>9.31</b>	<b>△ 0.45</b>	<b>△ 396</b>	<b>△ 0.49</b>	<b>80.82</b>
中 区	2,110	8.76	0.81	2,154	8.94	2.43	△ 44	△ 0.18	340.00
東 区	1,328	10.26	△ 4.73	1,012	7.82	△ 8.75	316	2.44	10.88
西 区	1,018	8.89	△ 6.09	1,061	9.27	△ 3.37	△ 43	△ 0.38	207.14
南 区	900	8.63	△ 7.98	897	8.61	△ 1.64	3	0.03	△ 95.45
北 区	768	8.08	0.26	1,025	10.79	0.59	△ 257	△ 2.70	1.58
浜北区	906	9.46	△ 1.41	837	8.74	3.33	69	0.72	△ 36.70
天竜区	139	4.21	△ 4.79	579	17.55	5.66	△ 440	△ 13.33	9.45
平成24年	7,380	9.04	1.42	7,599	9.31	3.15	△ 219	△ 0.27	143.33

## (2) 社会動態

平成25年1月から12月までの社会動態をみると、転入者数は21,376人、転入率(人口1,000人あたりの転入者数)は26.30‰(パーミル)である。これに対し、転出者数は24,309人、転出率(人口1,000人あたりの転出者数)は29.90‰で、両者の差である社会増加数は2,932人減少となり、社会増加率(人口1,000人あたりの社会増加数)は3.61‰減である。

前年と比較すると、転入者数は157人減少、転出者数は520人増加となった。社会増加数は676人減少で、29.96‰減となっている。

行政区別にみると、転入者数・転出者数ともに中区、東区の順に多い。社会増加数は北区、浜北区においては増加しており、中区、南区、西区の順に減少している。社会動態率をみると、転入率・転出率ともに最も高いのは中区であるが、社会増加率は社会増加数と同様、北区、浜北区は増加、天竜区、南区、西区の順に減少している。

自然動態と社会動態を比較すると、本年は自然増加数396人減少しているのに対し、社会増加数は2,932人減少となり、前年の減少に比べ、その幅は大きくなっている。

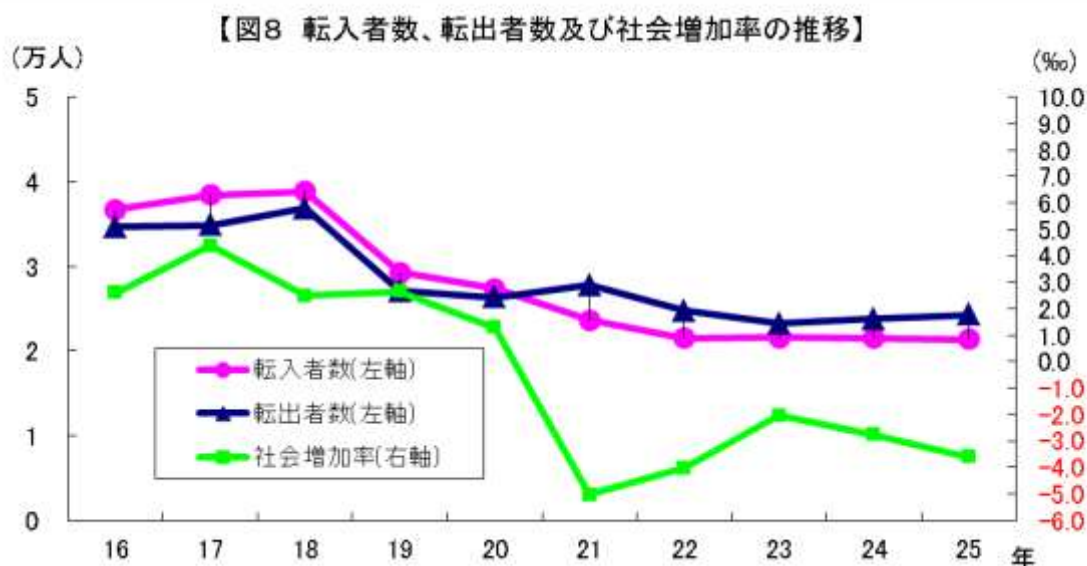


表8 社会動態(市外移動)

区 別	転 入			転 出			社 会 増 加		
	総 数	転入率(‰)	前年比(%)	総 数	転出率(‰)	前年比(%)	総 数	社会増加率(‰)	△は減少率 前年比(%)
<b>浜松市</b>	<b>21,376</b>	<b>26.30</b>	<b>△ 0.73</b>	<b>24,309</b>	<b>29.90</b>	<b>2.19</b>	<b>△ 2,932</b>	<b>△ 3.61</b>	<b>△ 29.96</b>
中 区	8,621	35.78	△ 0.40	9,998	41.49	6.96	△ 1,377	△ 6.79	99.28
東 区	3,239	25.02	△ 2.38	3,667	28.33	3.59	△ 428	△ 2.37	92.79
西 区	2,699	23.58	△ 5.89	3,110	27.17	△ 6.66	△ 411	△ 7.98	△ 11.42
南 区	2,636	25.29	5.23	3,358	32.22	10.53	△ 722	△ 10.50	35.46
北 区	1,893	19.92	△ 1.15	1,911	20.11	△ 6.28	△ 18	4.48	△ 85.48
浜北区	1,850	19.32	△ 0.54	1,673	17.47	△ 13.98	177	9.99	△ 308.24
天竜区	438	13.27	6.57	592	17.94	8.03	△ 154	△ 11.09	12.41
平成24年	21,533	26.37	△ 0.26	23,789	29.14	2.30	△ 2,256	△ 2.76	35.50

## 6 人口移動状況(住民基本台帳・平成25年1月～12月)

平成25年1月から12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は8,789人(構成比52.1%)、転出者は8,636人(50.0%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者・転出者ともに東京都特別区部、静岡市、名古屋市の順に多い。(統計表7参照)

全国でみると411人の転出超過であるが、北陸甲信越、東海、近畿、中国、四国地方に対しては転入超過である。東海地方においては153人の転入超過であるが、愛知県に対しては433人の転出超過である。

表9 地方別転入・転出者数

地方	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
<b>総数</b>	<b>16,860</b>	<b>100.0</b>	<b>9,708</b>	<b>7,152</b>	<b>17,271</b>	<b>100.0</b>	<b>9,904</b>	<b>7,367</b>	<b>△ 411</b>	<b>△ 196</b>	<b>△ 215</b>
北海道	212	1.3	133	79	285	1.7	184	101	△ 73	△ 51	△ 22
東北	373	2.2	223	150	398	2.3	278	120	△ 25	△ 55	30
関東	4,062	24.1	2,454	1,608	4,782	27.7	2,596	2,186	△ 720	△ 142	△ 578
北陸甲信越	658	3.9	387	271	593	3.4	354	239	65	33	32
東海	8,789	52.1	4,834	3,955	8,636	50.0	4,948	3,688	153	△ 114	267
近畿	1,246	7.4	696	550	1,178	6.8	651	527	68	45	23
中国	602	3.6	425	177	321	1.9	194	127	281	231	50
四国	142	0.8	81	61	113	0.7	74	39	29	7	22
九州・沖縄	776	4.6	475	301	965	5.6	625	340	△ 189	△ 150	△ 39

注1) 住民基本台帳人口移動報告月報(総務省統計局)による。

注2) 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 北陸甲信越地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県 近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県 九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、統計表7に掲載。

表10 東海地方県別転入・転出者数

県	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
<b>総数</b>	<b>8,789</b>	<b>100.0</b>	<b>4,834</b>	<b>3,955</b>	<b>8,636</b>	<b>100.0</b>	<b>4,948</b>	<b>3,688</b>	<b>153</b>	<b>△ 114</b>	<b>267</b>
静岡県	5,737	65.3	3,090	2,647	5,149	59.6	2,977	2,172	588	113	475
岐阜県	303	3.4	179	124	285	3.3	175	110	18	4	14
愛知県	2,448	27.9	1,381	1,067	2,881	33.4	1,604	1,277	△ 433	△ 223	△ 210
三重県	301	3.4	184	117	321	3.7	192	129	△ 20	△ 8	△ 12